

御坊ゆかりの羽山家と

南方熊楠

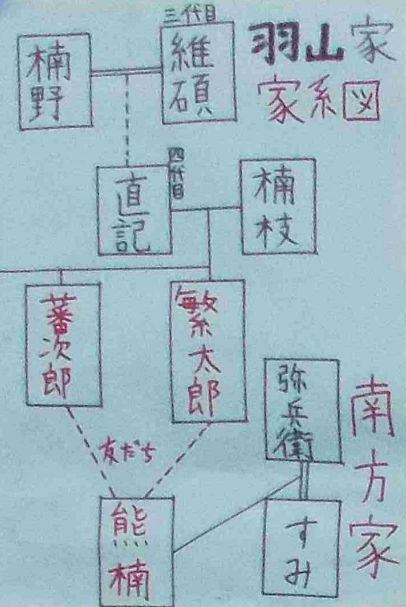
羽山家

郷土学者 阪本尚生 さんに学ぶ 南方熊楠と

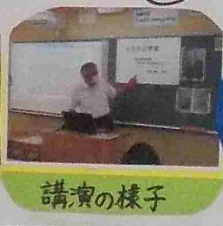


植物学者・民俗学者で、和歌山県を代表する偉人。南方熊楠。熊楠は東京大学を退学後、日高郡で療養中に羽山繁太郎・蕃次郎兄弟に出会います。熊楠が、羽山家（御坊市・塩屋）に6回、計70日、滞在するなど、いと親交が深かった。熊楠が洋行中に兄弟は結核で亡くなってしまう。のつなかりは続きました。

羽山家について



羽山家は御坊市の医者と、蕃次郎は羽山直記の八人兄弟の長男と次男です。南方熊楠と交流があり、終生互いに親愛の情を持ち結けました。



阪本尚生さんに南方熊楠と羽山家の関係性について教えてもらいました!

熊楠が調べた

粘菌って何?

粘菌とは移動する動物的な性質を持つ繁殖胞子によって繁殖する植物的な性質をもつ生物です。



ロンギフィラ

熊楠の研究をかに昭和天皇が戦後皇太子に召された。

熊楠が発見した新種! 名→南方の鳥

忘るなよ
とばかり言ひて
別れにし
その朝霧の
けさぞ身にしむ



アンケート

南方熊楠は何をしていた人か知っていますか?
 (A) 野球選手 (B) 植物学者、民俗学者
 (C) 医者 (D) その他

羽山家について知っていますか?



1867	1884	1886	1893	1916	1929	1941
5月18日 和歌山市に誕生	9月 東京大学入学	東京大学退学 アメリカへ行く	9月、大英博物館の利用の便を得る	7月、変形菌を採集	昭和天皇に変形菌を進献	12月29日、74歳死

熊楠年表

